

新郡市医師会長の紹介

就任のご挨拶

芦別市医師会

会長 橋本 英明



北海道医師会の皆様には日頃からご指導いただき心から感謝申し上げます。まず初めに、芦別市医師会で14年間の長きに亘り会長を務められた藤嶋彰先生が10月30日に67歳でご逝去されました。12月11日には、平成4年から平成10年まで医師会長を務められた岩間珠一先生が90歳にて急逝されました。お二人とも市民に愛され、地域医療はもとより地域に大きな足跡を残されました。悲しいお別れに際し、限りない哀悼の誠を捧げ心からご冥福をお祈り申し上げます。私は、昭和42年生まれ、橋本英明と申します。北大第二内科入局後、北見赤十字病院、小樽市立病院、釧路赤十字病院を経て平成15年から父親の後継として橋本内科医院で診療を開始いたしました。少子高齢化は加速度的に進み、現在芦別市の人口は13,229人（令和元年11月現在）で、令和12年に

は9,328人と推計されております。かつて基幹産業であった炭鉱で栄えたこの街には、杏友会（きょうゆうかい）なる20名弱からなる個人開業医の会が存在していましたが、令和元年には一人となりました。この度医師会長という重責を拝命し気が引き締まる思いと同時に、数年後の未来を想像すると恐怖感すら覚えます。

早速、市立芦別病院のあり方検討委員会に参加しては、地域医療構想アドバイザーの佐古先生には大変お世話になりの確なご指導を受けたところでございます。また、先日には医師会館において北海道地域医療構想調整会議協議会が開催され、全道21の各構想区域から重点課題の取り組み状況の報告後、活発な意見交換が行われました。都市への一極集中化と地方の疲弊化が進行し、医療提供体制を保つ事が非常に困難となってきております。そんな閉塞感漂う中にも、立ち向かう諸先輩方の姿を拝見できたことは今後の活動に勇気と希望を与えていただきました。情報共有をしっかりと行い、顔のみえる多職種連携を組み、少しでも地域に明るい方向性が見いだせるように尽力していく所存でございます。甚だ微力ではございますが、皆様のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願いいたします。